

## 子どもたちの成長のために

子どもたちの笑顔が絶えない学校をめざして、教職員が一丸となって日々の取組をすすめてまいりました。全国から校長が集まる校長会の全国大会に参加した折に聞いた、会長の言葉にあらためて心が引き締まる思いでした。

「子どもたちが楽しく学校生活を送るためには、先生が元気でなければ。」よく言われてきていることですが、管理職としてその難しさも感じながら取組を推進しています。この間、働き方改革の流れの中で様々なお願い事をさせていただいてきました。保護者の皆様のご理解・ご協力によりまして、教育活動を進めることができています。感謝申し上げます。ほんとうにありがとうございます。

子どもたちが健全に成長するためには、家庭教育と学校教育は欠かすことができない両輪だといわれます。大切にしたい事柄ですのでお伝えしたいと思います。

### 【学校教育は国がすべての子どものために行います】

学校教育は国がすべての子どもに対して、人として必要な知識・技能や態度、社会性など、人間形成の基礎を育むことを目指して行います。学校で教師が系統的・組織的に教育をおこないます。国語科・算数科・理科・社会科などの教科を通して、集団で勉強することが基本ですが、知識を教えるばかりでなく、自ら学ぶ力や、他の人との関係を通じて、社会的な力を育むことも重視しています。

これらの学校教育の内容は、『学習指導要領』によって定められており、小学校から高校まで、全国どの地域でも同じ水準の教育を受けられるしくみになっています。



## 【家庭教育は親がわが子のために行います】

家庭教育は、親がわが子に向けて行う教育です。人間形成の基礎を育むという目的は同じですが、こちらは決められた教科書などはなく、必要なことを、生活を通して伝えていきます。学校教育が学校という公的な場で、集団で行われるのに対して、家庭教育は家庭という私的な場で、親が子どもに行う働きかけです。

学校教育は、集団の中で学びの道筋も学習の期間も決まっているのに対して、家庭教育は親と子がマンツーマンで、子どもが大人になるまで続く教育です。



様々な会議や講演会でいろいろな考えにふれる機会がありますが、私自身も3人の子の父親として、大切にしなければと感じたことがあります。

### ○ 他の子と比べずに、認めて、褒めて、自信を

四季折々に、様々な花が咲き、人を楽しませてくれます。それぞれに美しさや固有のよさをもっています。子どもも一人一人に個性があり、独自のよさをもっています。認めて、褒めることで自信をもたせましょう。

### ○ 「だめなことはだめ」—親としての躰と言動規範を

時代が変わっても、人として変わってはいけないもの、大人として譲ってはいけないものがあります。「子は親の鏡」、親としての日々の言動が、躰そのものとなります。親として規範となる言動を示しましょう。



### ○ 「目を離さず、手を放す」の心構えを

親にしてもらった喜びよりも、自分でやれた喜びの方がはるかに大きいものです。たとえ、時間はかかっても、温かく見守り、自分で考え判断し、行動したことには責任をとることができる自立心を育てましょう。

このような内容を踏まえ、それぞれの立場を尊重し、児童一人一人の好ましい人間形成に向け、家庭と学校とが手を携えることが大切であると考えています。今後とも、本校の教育活動にご理解ご協力をお願いします。